

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／メディア・調査実習応用2 (Advanced Media Research Practice 2)		
担当者名 (Instructor)	軽部 謙介(KARUBE KENSUKE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMS3430	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	人数制限科目(20名)		

授業の目標(Course Objectives)

報道の基本となる記事の取材・執筆を実際に体験することを通じて、第三者に何かを伝えるというのはどういうことなのか、どのような表現が有効なのか、ジャーナリズムに必須となる正確性はどのようなプロセスで確保されるのかなどを理解します。自らテーマを設定して取材・執筆を体験します。

Students will practice the basics of reporting, i.e., collect materials and write articles. Through these, students will learn contents and useful expressions to convey information to the third party. Students will understand the processes required to ensure journalism accuracy. Students will select their subjects, collect materials, and write articles.

授業の内容(Course Contents)

新聞記事作成のプロセスを紹介し、長年にわたり形成されてきた簡潔にして要点を伝える文章の本質を探ります。また取材とはどのように行うのか、記事を書く上では何が大事なのかといった点を学んだうえで、実際に自分でテーマを設定し記事を取材・執筆してもらいます。「メディア・ジャーナリズム実習基礎」の応用編です。

Professor will introduce processes of writing news articles. Conveying important information has gone through a long formation process. Students will explore the essence of these articles. Students will learn how to collect materials and what is important when writing articles. They will select their subjects, collect materials, and write articles.

授業計画(Course Schedule)

1. 記事を書くとはどういうことなのか＝ジャーナリストとして現象を伝達していくことの意味を概括的に。
2. 記事の基本＝「5W1H」の重要性について、具体例を検討しながら深めて考えます。
3. 記事の類型＝本記、サイド、解説、論説など記事の分類を紹介し、それらが果たす意義について考えます。
4. 記事はどのように書かれるのか＝実際の記事執筆のプロセスを紹介し、留意点などを検討します。
5. 記者はどのように取材していくのか＝取材の現場とはどういうものなのか、どのようなことに注意しながら取材するのかなどを紹介しながら、取材という行為を考えます。
6. 資料はどのように集めるのか＝調査報道には不可欠となる資料収集について、入手の具体的な方法を提示します。
7. テーマ設定その1＝取材・執筆する対象をどのように選ぶのか、その際にはどのような視点が必要なのかを考えます。
8. テーマ設定その2＝各自の設定したテーマを発表し、具体的な留意点などについて考えます。
9. 記事執筆の留意点＝見出しはどのようにとるのか、リードにはどのような要素を盛り込むのかなどを検討します。
10. 記事執筆実習その1＝模擬記者会見を実施し、実際に記事を書いてもらいます。
11. 記事執筆演習その2＝その1の時に書いてもらった記事の講評を行います。指摘された点を通じて何が執筆に必要なのか改めて考えてもらいます。
12. 解説・サイド記事の書き方＝本記記事以外の書き方について具体的に紹介します。
13. 実習記事の提出と発表＝テーマ設定その2で各自が決めた記事をこの時まで提出し、その取材経験などを発表してもらいます。
14. 実習記事の講評とまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

実習記事の取材・執筆は授業時間外に行います。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業参加度(30%)／実習記事(40%)／レポート提出(30%)

なお単位修得のためには75%以上の出席を必要とします。

テキスト(Textbooks)

テキストは特に使用しません。

参考文献(Readings)

参考文献はその都度授業中に示します。ただ、紙の新聞については、一紙で結構ですので毎日読むようにしてください。「朝日」でも「毎日」でも何でも結構です。自宅とっていない場合は、大学や地域の図書館で読むように努めてください。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

「メディア・ジャーナリズム実習基礎」を履修することが強く望まれます。

注意事項(Notice)